

耐震性貯水槽の設置は

西山輝和議員

災害時にも飲料水を確保するため、耐震性貯水槽を設置する予定はないか。強大な地震が発生した場合、水道施設も被害をこうむり、住民への給水が不能となった場合の対策をどのように考えるか。

人口が多い地区への対応について、耐震性貯水槽を設置する考えはないか。また、消防庁舎建設にあわせて、敷地内に埋設する考えについても伺う。

高薄町長

本町の貯配水施設は第1浄水場、第2浄水場をはじめ、町内には6箇所あり分散している。

災害が起きたとき、町内のなかには被害を受けない地域も出てくると思われるので、現在ある貯水槽を最大限にいかしていく。消防庁舎建設にあわせ



第1・第2浄水場では、町民約6,000人分の水道水をまかっている。

ての貯水槽設置については、人の出入りが多くなることにより、緊急時に車両の出勤が困難になるおそれがあるため、検討の結果、設置は取り止めることになった。

少子化対策への考えは

佐藤幸一議員

①先天性風しん症候群の予防として、希望者へのワクチン接種補助制度が必要と考えるが、いかがか。
②子育て支援策が近隣町

と同レベルまで引き上げられ、一部はそれ以上の支援内容となっている。「子育てするなら清水町へ」をPRし、定住人口の増大を図ってはいかがか。

高薄町長

①現在、風しんの流行が続いており、妊婦への感染を防ぐためには、家族にも予防接種が必要である。しかし、ワクチンそのものも少なくなってきたという状況にあるので、早い時期に予防接種の補助を実施していきたい。

②今後、定住人口を増やすためにも、子育てしやすい環境づくりを推進する必要がある。来年度は、保育料について、保護者の負担軽減策を考えていきたい。

十勝清水駅階段解消への取り組み

佐藤幸一議員

町長公約の一つに「JR十勝清水駅の階段解消を

史上最低の投票率となった。日本全体で投票率が低下しており、さまざまな原因があると思うが、投票率の向上対策として、本町の取り組みを伺う。

高薄町長

①選挙管理委員会として投票率向上のために行ってきた取り組み、また、今後はどのように取り組んでいく考えか。

②小・中学校で政治について関心を持つために、どのような取り組みをしているのか伺う。

山本選挙管理委員長

①啓発活動として新成人へのパンフレット配布やホームページを利用した周知のほか、選挙時には選挙公報やのぼりの設置、チラシによる啓発や広報車を利用した周知を実施している。

また、公職選挙法の改正により、投票時間の延長、不在者投票の簡素化、期日前投票制度の導入など、有権者が投票しやすい環境に見直されてきているが、選挙に関心がなければ、投票率の向上には結びつかないと感じている。

今後、選挙啓発とあわせながら、公正で確実な選挙事務を念頭に、万全な体制を取っていく。

三澤教育委員長

②小学6年生の社会科で、国民の権利として政治に参加する参政権についての学習が行われており、また、中学3年生の社会科では、議会制民主主義や住民自治の意義を考え、選挙をはじめとする国民の政治参加による民主政治についての学習が行われている。教育委員会として、引き続き、小・中学校において、政治及び自分たちの町について関心を持つような子どもを育てていきたいと考えている。

